

新年 あけまして



おめでとうございます



旧年中は、大変お世話になりました
本年もどうぞよろしく申し上げます

2013年は、巳年。

ヘビは、脱皮をして大きく成長することから「死と再生」の象徴となったり、
長期の飢餓状態にあっても生き続けることから「不老不死」の象徴となったり、
縁起のよい生き物とされています。

とはいえ、急に現れると「ソクッ」とし、
その特有の姿から、「ヘビは苦手」という方も多いのでは？

さて、仏様の教えにもヘビはよく登場します。
ちょっとここで、「お釈迦様と毒蛇」という逸話を簡単にご紹介しましょう。

ある日、お釈迦様は旅先で一軒の家に一晚泊めてもら
うこととなりました。

その家の主人は、お釈迦様をお部屋へご案内した後、
「有名なお釈迦様があわてふためく様子を見てやろう」
と思い、お釈迦様の寝ているお部屋に毒蛇を放ちまし
た。驚いて部屋を出てくるのでは、と待ち構えておりま
したが、一晚たってもお釈迦様は出てきませんでした。

翌朝、主人はお釈迦様に「毒蛇が部屋に入りません
でしたか？」と聞くと、お釈迦様は「毒蛇でしたら、私の
托鉢用の鉢の中で寝ていますよ」とお答えになりました。
「どうして毒蛇を殺さないのですか？」と重ねて聞
くと、「毒蛇も私達と同じく尊い命を持つからですよ」

この逸話の教えは「尊重」です。

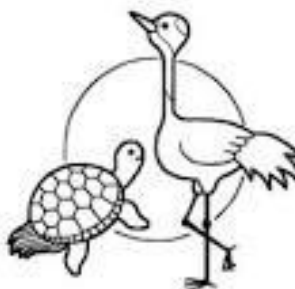
誰しも、自分が愛おしく、自分の命が一番大切です。

だからこそ、

私が自分を大切に思うように、隣の人も同じように自分が大切だということを、
お釈迦様は教えて下さっています。

「自分の生活も他人の生活も大切にしましょう」とは、
大本山妙心寺の生活信条にもなっています。

普段の暮らしの中で、
「自分ならどう思うだろう」と相手の立場になって考えられる
そんな一年であればと願います。



大智寺だより

平成 25 年 睦月
Vol.35

発行所

大智寺

岐阜市山県北野
668-1

電話: 058-229-1532

《Mail》

hybsr245@ybb.ne.jp

《ホームページ》

大智寺

検索

<http://www.daichiji.com>

当紙は、大智寺本堂及び墓地
の水小屋にてご自由にお取り
いただけます。
又、当寺ホームページにて
過去のすべての紙面をご覧い
ただけます。ご活用ください。

12月号発行部数
300部

ご愛読
ありがとうございます



大智寺 大般若会

(だいはんにゃえ)

1月15日(火)

10時~祈祷法要 11時~うどん接待



家族の健康や五穀豊穡、一年の平安を祈願します
今年も無事に過ごすことができますように

大智寺ではこの日、近隣のお寺の和尚様方20名程をお招きし
年に一度 お檀家様にお配りする大般若札のご祈祷を行います。

禅宗では「ご祈祷」というと、唯一この大般若祈祷のみとなります。
この祈祷法要では、中国唐の時代の玄奘三蔵法師がインドから持ち帰った「大般若経」が唱えられます。
「大般若経」は、全600巻もある膨大なお経ですが、
その一番大切な部分をギュッとまとめたお経が、いつも親しんでいる「般若心経」です。



さて、玄奘三蔵法師と聞くと思い浮かぶのが「西遊記」の物語。
当時、タクラマカン砂漠という日本がすっぽり入ってしまうような
大きい砂漠を越えてインドへ行き、大量の経典を持って中国へ帰る
ことは、絶体絶命の旅でした。
それでも玄奘三蔵法師は、世に仏教を広めるため命をかけて旅に
出られ、およそ17年の歳月をかけて3万キロともいわれる距離を
歩き通されました。

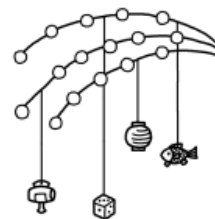
大智寺の本堂の西側に小さな部屋がありますが、
そこの床の間には玄奘三蔵法師の旅姿が描かれた掛け軸がかかっています。
長旅から帰った後、4年の歳月をかけ翻訳された大般若経600巻。
大般若経の翻訳を終え、わずか100日で玄奘法師は息を引き取りました。



今月15日の大般若会では、
そんな玄奘三蔵法師が広めた大般若経をお唱えしつつ、
皆様の一年の平穏無事をご祈祷いたします。

— 大智寺は東日本大震災を忘れない —

地震から年月が流れ、
人々の記憶からあの日の恐ろしい光景は風化しようとしています
心ばかりの微力な支援でも
思い出し、ご冥福を祈ることが、大智寺にできること



大震災の翌月から始まった 大智寺の追善供養写経会。
幼い赤ん坊から夢いっぱいの子供たち、
一家を支える頼もしい夫や、やさしい妻、
今までの疲れを癒そうとしていた両親たち

普段の暮らしを、命を奪われた多くの物故者のご冥福を祈るため
月に一回、心を静かに写経をしています。
どなたでもご参加いただけます、ぜひ一緒に。

平成24年
妙心寺派宗務本所花園会本部
東北地方太平洋沖地震義援金

大智寺からの義援金
30,876円

毎月の写経会の義援金と
本堂の義援金箱より



～ まめ知識 インタビューしてみました ～

第四回：お仏壇屋さんの「香炉（こうろ）」エピソード

ご自宅のお仏壇に手を合わす毎日に、
ちょっとお役に立てればありがたい、そんなお話。



新年、心新たにお仏壇に向かわれる方も多いことと思います。
お線香を香炉に立てると、あたりによい香りが漂い、自然と落ち着いてきます。

そんな香炉ですが、毎日お線香をあげていると燃えカスがたまってきます。
だんだん燃えカスが山盛りになると、火の元も心配ですし、見た目にも気持ち良くありません。
香炉の灰は、天気の良い日に新聞紙を広げ、その上に全部出します。
よくほぐして、乾燥させ、茶こしやザルでふるいにかけてます。

あまり香炉の掃除をしないと、灰が固くなり、お線香が立たなくなったり、
火付きが悪く、お線香が最後まで燃え切らなくなります。
気持ち良くお仏壇に向かえるように、時々思い出してくださいね。

≪ 大野仏壇総本店 ≫

今年のご挨拶

年が変わると不思議なもので、何もかも新鮮で「まあ、これから」という気持ちになります。昨年は色々あったけれど、「まあ、それはそれとして」と心の中で区切りができるというのはありがたいことです。

昨年来、世間では「脱原発」「脱アフリ」など、「脱」という頭文字をよく目にします。今年の干支「ヘビ」は、「脱皮する」といって、新しい成長する」という縁起がありますが、どうなるんでしょうか。

さて、仏教世界ともなると「ヘビの脱皮」は悟りの象徴として語られます。実は私達人間も脱皮するという教えなのです。「えっ。」

私達人間は、ついつい所有欲が働いて、「これは私のもの」「あれも私のもの」と財産や地位、知識や家族、あれこれ自分のものと思ってしまう。しまいに、むしろ当然の「ごんごん」私のこの身体は、もちろん私のものと思っています。けれど私達は、望んで母親の身体に宿ったわけでもなく、納得して許したわけでもないのに死んでゆきます。

この我が身をはじめ、この世で得た所有物とは、つまり「ヘビの皮」であり、いずれそこから「脱皮」し、やすらかな仏となります。

お互いに和やかな笑顔で譲り合い、助け合い、「ヘビの皮」に執着しないそんな大きな心を、ひとり一人が大切にできる穏やかな一年であればと願います。



～ シリーズ 北野のおばあちゃんの味 ～

♪ 北野で丁寧に野菜を育てるおばあちゃんの味 おすそわけ ♪

里5号のおばあちゃん ふろふきふーふー

- ① かぶら1個の皮をむいて、沸騰した湯で火を通す。
- ② 別の鍋に白みそ大さじ1.5と、みりん、すりごま、酒各大さじ1を混ぜ合わせ、火を通してまろやかなごまみそにする。
- ③ かぶらを鍋から出し器に盛り、適量にごまみそをかけて食べる。

かぶらは、ビタミンたっぷりで葉も食べれるし、ええよ。
大根と似とるけど、煮えるのが早いで気を付けんとかたかたになるよ。
お正月明けは、あんまりお腹に重くない、こんなもんでちょうどいいんやて。





～ うちの宗教って、どんなやつけ？ ～

第一回：うちの宗教は、禅宗の中の「臨済宗（りんざいしゅう）」

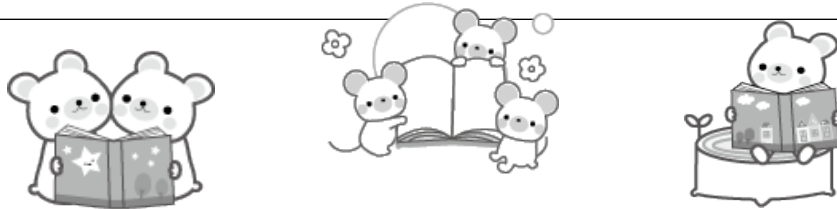
大智寺の宗門を、やさしく簡単におわかりいただければ嬉しい、そんなお話



大智寺は、臨済宗のお寺です。
「臨済宗」と聞いてもピンとこない方も、「禅宗」と聞くと「坐禅をするのかな」と見当がつかます。
「禅宗」には大きく分けて「臨済宗」「曹洞宗」「黄檗宗」の三派があります。
つまり、大智寺は禅宗の中の一派である「臨済宗」を旨としています。

さて、この「臨済宗」の「臨済」って何でしょう？
これは、大昔9世紀の頃に中国で活躍された禅僧 臨済義玄（りんざいぎげん）という方の名です。
この方の説かれた教えこそ、私達の信ずる教え「臨済宗」なのです。

一つの宗派を興した方を「宗祖（しゅうそ）」といいますが、
我が臨済宗の宗祖 臨済義玄のご命日は、今月10日です。
これから一年、ゆっくりと我が家の宗教をひも解いていければと思います。



♪ 月に一度はお寺まいり ♪

初心者 大歓迎
東日本大震災物故者追善供養
毎月 第四日曜日
定例写経会

今月の日程

1月27日（日） 一回 500円
（朝8時～9時） （内300円は義援金）
要申込

昨年のお守り、お札
大切な故人の遺品 **お焚き上げ**
思い出の写真や手紙

今年の日程

1月15日（火）
（13時より行います）
※当日来れない方も、事前にお預かりします

永代供養墓って、どんなお墓？

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りする方がいなくても、
永代にわたって、お寺が守って供養するお墓のこと。

大智寺の永代供養墓は、ご夫婦ご家族一緒に
ひとつのお墓にお眠りいただけるタイプです。
永代に亘り、他の方のお骨と混じらないことから
「完全個別永代供養墓」といいます。

ご希望の方は、いつでもご相談ください。



完全個別永代供養墓
1区画：38万円～
（墓石代金含む）

ご家庭のご事情により、
また、その方のご希望により
費用は変わります。

詳しくは、ご見学を含めて
ご説明いたしますので、ご予約
の上、ご来山ください。